

「震度7」が遺したものの

～阪神・淡路大震災25年～

日程 2020年1月11日(土)～12日(日)

シンポジウム

日程 2020年1月12日(日) 13:00～17:30

場所 関西学院会館レセプションホール (兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

PROGRAM

プログラム

(敬称略)

13:00～13:10	開会挨拶 舟木 讓 (関西学院院長) 村田 治 (関西学院大学学長)
13:10～14:20	基調講演 「今に続く1・17」 中川 智子 (宝塚市長)
14:20～14:50	報告 「新たな災害法制に挑む」 野呂 雅之 (関西学院大学災害復興制度研究所 主任研究員・教授)
(小 憩)	
15:10～17:25	パネル討論「人間復興」の実現に向けて 災害復興制度研究所は開設15周年の節目に、被災者が生活再建するまで切れ目のない支援を目指して、新たな災害法制として「被災者総合支援法案」を発表しました。「人間の復興」を実現するため、被災者自らが支援内容の決定過程に参画できる仕組みにしています。パネル討論には、立法に携わる国会議員、災害法制に詳しい研究者を招き、被災者主体の制度のあり方を考えます。 ■パネリスト (五十音順) 石垣 のりこ (参議院議員) 泉田 裕彦 (衆議院議員) 金子 由芳 (神戸大学教授) 山崎 栄一 (関西大学教授) ■コーディネーター 津久井 進 (弁護士)
17:25～17:30	閉会挨拶 長岡 徹 (関西学院大学災害復興制度研究所長)